

子どもの目の下にある青いアザが気になります 「太田母斑」はレーザーで治療します

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>

太田母斑



皮膚の表面に青いアザができる「太田母斑」。目の回りなどにはありません。

生後すぐにはできる青い層に存在するメラノサイトアザ・太田母斑(おぼん)ト(色素細胞)が、皮膚の深いところにある真皮層にできてしまい、表面がアザのように見えてしまう状態です。メソノサイトが出来る部分が深いほど青っぽく、浅いと茶色っぽいアザになります。原因は分かかっていませんが、約半数の人は生後1年以内、あとは10代の思春期のころに発症します。本来は表皮の基底

層に存在するメラノサイトト(色素細胞)が、皮膚の深いところにある真皮層にできてしまい、表面がアザのように見えてしまう状態です。メソノサイトが出来る部分が深いほど青っぽく、浅いと茶色っぽいアザになります。原因は分かかっていませんが、約半数の人は生後1年以内、あとは10代の思春期のころに発症します。本来は表皮の基底

す。おしりなどにはできる蒙古斑(もうこうぼん)は年齢とともに消えますが、太田母斑は自然に消えることがありません」
治療法は？
「太田母斑は痛みやかゆみなどの症状はありませんが、見た目の問題で気になる人は保険適用のQスイッチレーザーやQフラッシュアレキサンドライトレーザーで治療します。レーザー治療は照射後に炎症性色素沈着がおきるので、皮膚の状態を見ながら3カ月間1回程度、状態にもよりますが5、6回の照射を行います」

「いつでも治療は可能ですが、レーザー照射は痛みを伴うため、幼児の場合は全身麻酔になります。皮膚科を受診して、治療方法や時期などを相談してみてください。」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2017年4月22日付 「リビング東京副都心」に掲載されました